

第 31 回 日本中毒学会西日本部会プログラム

日時:平成 23 年2月26日(土)13:00～17:00

場所:りんくう総合医療センター 市立泉佐野病院

大阪府泉佐野市りんくう往来北 2-23

第 31 回日本中毒学会西日本部会

世話人 松岡 哲也

幹事会(市立泉佐野病院 3 階 特別会議室)	12:00～12:50
開会の辞	13:00～13:10
一般演題 I	13:10～14:00
一般演題 II	14:00～14:30
休憩	14:30～14:45

特別講演 14:45～15:45

司会 大阪府立泉州救命救急センター所長 松岡哲也

「トキシコビジランスにおける日本中毒情報センターの役割

—症例収集を中心に—

財団法人日本中毒情報センター大阪中毒 110 番

施設次長 波多野 弥生 先生

休憩	15:45～16:00
一般演題 III	16:00～16:50
閉会の辞	16:50～16:55
次回世話人の挨拶	16:55～17:00

以 上

演題プログラム

13:00～13:10 開会の辞 松岡 哲也

13:10～14:00 一般演題 I

1. 過去 3 年間に当施設で加療した酸・アルカリ服用症例

奈良県立医科大学 高度救命救急センター

○福島 英賢, 高野 啓佑, 浅井 英樹, 渡邊 知朗, 関 匡彦, 瓜園 泰之,
畑 倫明, 西尾 健治, 奥地 一夫

2. リチウム中毒から急性腎不全および高カリウム血症を呈し緊急透析を要した一例

大阪府立中河内救命救急センター

○日野 裕志, 岡 宏保, 池側 恭洋, 岸 文久, 桐山 圭司, 内藤 敦,
片山 祐介, 西山 和孝, 安池 純士, 島津 和久, 松坂 正訓,
岸本 正文, 加藤 昇, 塩野 茂

3. 酸化マグネシウム(Mg)の過量内服により意識障害を来した一症例

大阪市立大学大学院医学研究科 救急生体管理医学

○豊田 和也, 坂本 道治, 永嶋 太, 高松 純平, 田口 博一, 安田 光宏,
西内 辰也, 山本 啓雅, 山村 仁, 溝端 康光

4. 三環系抗うつ薬(TCA)大量服薬により死亡した一例

神戸大学医学部附属病院救命救急科

神戸大学大学院医学研究科法医学分野¹⁾

○板垣 有亮, 川嶋 隆久, 加藤 隆之, 大村 和也, 村田 晃一,
藤田 百合子, 渡辺 友紀子, 安藤 維洋, 西村 与志郎, 陵城 成浩,
吉田 剛, 岡田 直巳, 遠山 一成, 中尾 博之, 石井 昇, 浅野 水辺¹⁾

5. 10 歳代における市販薬を用いた自殺企図・自傷行為の実態調査

財団法人 日本中毒情報センター¹⁾

大阪大学大学院²⁾

○橘 俊宏¹⁾, 荒木 浩之¹⁾, 飯塚 富士子¹⁾, 三瀬 雅史¹⁾, 波多野 弥生¹⁾,
遠藤 容子¹⁾, 黒木 由美子¹⁾, 嶋津 岳士¹⁾²⁾

14:00～14:30 一般演題Ⅱ

6. 開院から13年における薬物定性試験結果の状況

大阪府立中河内救命救急センター

○吉田 元治, 津田 喜裕, 海老名 美里, 福岡 京子, 塩野 茂

7. 北川式検知管を用いた血中硫化水素検出方法の検討

大阪府三島救命救急センター 検査科¹⁾

大阪府三島救命救急センター 救急科²⁾

○濱田 宏輝¹⁾, 堀之内 圭三¹⁾, 木村 仁美¹⁾, 竹下 仁¹⁾, 山口 桂司¹⁾²⁾

8. 新規カラムを用いた中毒症例検体のHPLC直接分析による迅速対応法(第4報)

関西医科大学附属滝井病院 臨床検査部¹⁾

関西医科大学附属滝井病院 臨床検査医学講座²⁾

○原 克子¹⁾, 小宮山 豊¹⁾²⁾, 平城 均¹⁾, 正木 浩哉¹⁾²⁾, 高橋 伯夫¹⁾²⁾

14:30～14:45 休 憩

14:45～15:45 特別講演

司会 大阪府立泉州救命救急センター所長 松岡哲也

「トキシコビジランスにおける日本中毒情報センターの役割

—症例収集を中心に—

財団法人日本中毒情報センター大阪中毒110番

施設次長 波多野 弥生 先生

15:45～16:00 休 憩

16:00～16:50 一般演題Ⅲ

9. バラコート中毒により死亡した一例(禍は忘れた頃にやってくる)

近畿大学医学部救急医学¹⁾

東海大学医学部救急医学²⁾

○石川 久¹⁾, 津田 紀子¹⁾, 石部 琢也¹⁾, 高橋 秀明¹⁾, 畠中 剛久¹⁾,
丸山 克之¹⁾, 植嶋 利文¹⁾, 村尾 佳則¹⁾, 坂田 育弘¹⁾, 斉藤 剛²⁾

10. 当センターにおける間歇型 CO 中毒予防に対する HBO 実施現状

関西医科大学附属滝井病院 高度救命救急センター

○北元 健, 平川 昭彦, 前田 裕仁, 波柴 尉充, 宮崎 秀行, 泉野 浩生

岡本 桃子, 齋藤 福樹, 岩瀬 正顕, 中谷 壽男

11. 剖検例における急性薬物中毒死の生化学指標

大阪市立大学大学院医学研究科法医学¹⁾

大阪大谷大学薬学部臨床薬学教育センター²⁾

○宮里 公子¹⁾, 石川 隆紀¹⁾, 道上 知美¹⁾, 織谷 茂樹¹⁾, 王 起¹⁾,

小川 雅史²⁾, 前田 均¹⁾

12. 特徴的な肺水腫陰影を呈した急性硫化水素中毒の 1 症例

大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター

○山内 真沙子, 山川 一馬, 小倉 裕司, 鋤方 安行, 嶋津 岳士

13. 致死量を超えるキシレン大量服用による急性肺水腫

—PiCCO を用いた病態解明の有用性—

大阪府立泉州救命救急センター

○長尾 典尚, 中尾 彰太, 渡部 広明, 石川 和男, 水島 靖明, 松岡 哲也

16:50～16:55

閉会の辞

松岡 哲也

16:55～17:00

次回世話人の挨拶

八尾徳洲会総合病院 治験センター主任 神原 永長 先生